

令和3年度 事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

- (1) 令和3年4月30日 第34回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①役員及び評議員候補者の決定について
- (2) 令和3年5月27日 第35回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①令和2年度事業報告並びに収支決算について
 - ②評議員会の開催について
 - ③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- (3) 令和3年12月23日 第36回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①令和3年度事業計画及び事業会計予算の補正並びにこれに係る付帯事項について
- (4) 令和4年3月1日 第37回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員会の開催について
- (5) 令和4年3月29日 第38回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①令和3年度事業計画及び事業会計予算の補正について
 - ②令和4年度事業計画及び事業会計予算について
 - ③常務理事の選定について
 - ④報告 令和2年度収支決算 正味財産増減計算書等について
 - ⑤報告 令和2年度収支決算 公益目的支出計画実施報告書について
 - ⑥報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

2. 評議員会

- (1) 令和3年5月10日 第22回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①役員の選任について
 - ②評議員の選任について

(2) 令和3年6月14日 第23回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和2年度事業報告及び収支決算について
- ②定款の変更について
- ③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和4年3月29日 第24回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員の選任について
- ②評議員の選任について
- ③常勤理事の報酬額について
- ④報告 令和3年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ⑤報告 令和4年度事業計画及び事業会計予算について
- ⑥報告 令和2年度収支決算 正味財産増減計算書等について
- ⑦報告 令和2年度収支決算 公益目的支出計画実施報告書について
- ⑧報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

3. 監査

令和4年5月19日及び5月20日 令和3年度決算について監事からそれぞれ監査を受けた。

監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

令和3年8月18日 賛助会員との連携を深めるため、合同会議をときわホールにおいてハイブリッドで開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者及び観光施設優良従業員の表彰を行った。

5. 財政的援助団体等監査

令和3年11月18日 徳島県監査事務局の令和2年度を対象とした監査を受け、基本財産の管理が不適切との指摘があり、是正措置を講じた。

6. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書をホームページで公開している。

II. 業務の概要

令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の停滞に伴い、多くの事務・事業が中止又は延期となった。

そのような状況下ではあったが、観光・コンベンション振興事業においては、国・県の施策に呼応する形で各種助成事業等に取り組んだ。

また、施設等管理運営事業においては、マスク着用、手指消毒など新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るとともに、館内LAN回線の更新、駐車場等の混雑状況を配信するライブカメラの導入など「安全・安心・快適」な施設運営に努めた。

1. 観光振興事業

観光振興事業では、観光情報サイト「阿波ナビ」やSNSを活用し、タイムリーな情報発信に努めたほか、市町村や観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。

また、県からの受託事業として、県内の観光産業を担う人材の育成のため、「とくしま観光アカデミー」の運営を行う「とくしま観光人づくり事業」や、長期化するコロナ禍において県内観光産業を支援するため、宿泊料の助成等を行う「もっと！とくしま応援割事業」等を実施した。

2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、「国際MICEエキスポ」（オンライン開催）に参加するとともに、コンベンション主催者に対して、施設利用プランや関係事業者の紹介などの情報発信と誘致活動に努めたほか、主催者に対する開催費の助成等を行った。

海外からのMICE誘致等促進事業としては、コロナ禍で延期となったワールドマスタースゲームズや、2025年の大阪・関西万博に訪れる国内外の観光誘客に向け、「ゴルフツーリズム」に係るオンライン商談会の実施や、「アドベンチャーツーリズム」に係る各種オンラインセミナーに参加するなど、情報収集に努めた。また、JNTO等が主催するオンライン商談会などにより、中国、香港、台湾、タイに向けた誘致活動を実施した。

3. 施設等管理運営事業

「アスティとくしま」と「ときわプラザ」の運営については、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、利用促進や地域の活性化を目的とした自主事業等を開催するとともに、SDGsを推進し、「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりに取り組んだ。

「渦の道」と「大鳴門橋架橋記念館エディ」の運営についても、同様に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で自主事業の開催や国内外の旅行会社等に対する営業活動を行うなど、入館者数の拡大と顧客満足度の向上に取り組んだ。

令和3年度 事業報告（附属明細書）

観光振興事業

1. 自主事業

（1）観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

観光情報サイト「阿波ナビ」を活用し、年間を通してタイムリーな観光情報を発信するとともに、Facebook や Instagram、TwitterなどのSNSを活用した情報発信を実施した。

② 「旬の徳島」魅力発信事業

（実施期間）令和3年4月～9月

（実施内容）写真家 大杉隼平氏に「旬の徳島」の魅力をテーマに写真撮影を依頼し、観光情報発信に活用できる素材の収集に努めた。

③ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア（下り線）内にある観光情報ステーションにおいて、パンフレット、ポスター、のぼり、映像等により本県の観光情報を発信し、観光客の誘致を図った。

④ とくしま観光情報通信員の活用事業

コロナ禍により「とくしま観光情報通信員」の投稿は無かった。

⑤ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致につなげるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進した。

⑥ 徳島国際観光サポーター事業

外国人目線で渦の道の魅力を抽出するため、当サポーターから意見を募集した。

また、台湾人留学生のサポーター登録に向けて、当事業を紹介した。

⑦ ポストコロナにおける情報発信強化事業

コロナ禍により、積極的な発信を自粛した。

(2) 観光客誘致促進事業

- ① 着地型旅行商品造成支援事業
既存の観光資源を組み合わせた滞在型商品を提案し、観光素材集で紹介した。
- ② 企業・大学等研修向けプログラム造成支援事業
コロナ禍により、対外的な研修活動が縮小したため、事業を中止した。
- ③ 中小旅行AGTへの観光情報発信事業
コロナ禍による県を跨いだ移動自粛などにより、事業を中止した。
- ④ 旅行AGT等サポート事業
旅行AGT等に対し継続的な観光情報の提供を行った。
- ⑤ 四国観光協会連合による四国域内流動活性化事業
四国4県観光（物産・コンベンション）協会で構成する四国観光協会連合が実施する「第6回おもてなし感激大賞2021」の準大賞を、剣山観光登山リフト株式会社が受賞した。
- ⑥ 観光商談会等への参加事業
旅行会社等が主催する観光商談会に参加し、徳島県の観光情報をPRし誘客を図った。
- ⑦ マスコミ活用宣伝事業
クレジットカード会員向けの冊子に掲載するなどの情報発信を行い、県内の旬な観光や、魅力ある体験などの情報を提供し観光客の誘致に努めた。

(3) 観光客受入対策事業

- ① 外国人受入態勢整備事業
コロナ禍により外国人観光客が途絶えていることなどから、これまでに作成した体験手順を阿波ナビで発信した。
- ② 観光関連事業団体の連携支援事業
県内の観光ガイド・観光ボランティアガイド団体等の活動状況を収集し、情報共有するとともに、観光素材集で情報発信した。

(4) その他の事業

- ① 観光表彰事業
令和3年8月18日にときわホールにおいて、観光振興面で功績のあった観光事業功労者6名・1団体及び観光施設優良従業員5名を表彰した。
また、過去の被表彰者の中から（公社）日本観光振興協会四国支部表彰等に該当する適格者として観光事業功労者3名を推薦した。

2. 県からの受託事業

(1) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

(ツアー数) 90件

(バス台数) 199台

(集客人数) 5,987名

(2) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や、徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

(撮影支援) 30件

(3) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信を行った。

(4) とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、体系的な「学びの場」として、徳島大学と一般社団法人イーストとくしま観光機構との共催による「とくしま観光アカデミー」の運営を実施した。

(実施期間) 令和3年11月18日(木)～令和4年2月10日(木)

(実施内容) オンライン12講座、ハイブリッド講座3講座を実施した。

リアルでの実地講座は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりオンラインでの実施に変更した。

① 共通講座(4講座) 内容：観光学基礎

② 専門講座(5講座×3コース ※一部コース横断的な講座あり)

ア ビジネスコース

目的：観光人材の即戦力強化

対象：観光事業従事者

内容：観光経営学、観光マーケティング論 ほか

イ チャレンジコース

目的：次代の観光産業の担い手育成

対象：高校生、大学生、社会人

内容：地域観光学、観光キャリアデザイン論 ほか

ウ 地域で活躍コース

目的：地域で活躍する観光人材の創出

対象：県民、観光ボランティア、徳島GGクラブ会員、
アクティブシニア

内容：地域・地元学、ホスピタリティ論 ほか

(参加申込数) 85名、リアル参加による修了者 29名
申込者限定でアーカイブ配信も実施

(5) 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業（冬の阿波おどり）

閑散期である冬期の観光誘客を促進するため、阿波おどりを組み込んだ企画旅行商品に対して経費の一部助成を行うとともに、商談会等で助成制度を紹介した。

(助成ツアー数) 1件

(集客人数) 18名

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

※徳島市阿波おどりの中止により、実施していない。

(7) 観光情報提供システム整備事業

徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行い、観光客の誘致促進や受け入れ態勢の充実を図った。

(8) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光プロモーション」を実施し、一般消費者や旅行会社向けの誘客営業を展開した。

① 「#徳島あるでないで」キャンペーン事業

大手旅行会社（OTA含む。）や航空会社とタイアップし、各社ホームページでの宿泊プラン等の設定など本県の誘客推進につながるキャンペーンを実施した。コロナウイルスの感染拡大の影響で割引クーポンの発行は中止となった。

② 旅行会社向けセールス等実施事業

旬の観光素材や助成制度を周知するため、主要都市において旅行会社向けの商談会等への参加やセールス等を実施するとともに、旅行会社への助成を行い、本県への旅行商品の造成を促進した。

ア 旅行会社への営業

新型コロナウイルス感染症の影響により延期や中止もあったが、オンライン商談会や旅行会社が主催する商談会に参加し、セールス等を実施した。また、出張等の機会を捉えて各県の旅行会社を訪問し、観光素材や助成制度等の説明を行った。

- ・「オール徳島」オンライン観光商談会
（開催日）令和3年5月24日（月）
- ・阪急交通社国内旅行推進協力会 中・四国支部商談会
（実施日）令和3年6月30日（水）
（開催場所）ザ クラウンパレス新阪急高知（高知市）
- ・阪急交通社中国四国地区商談会
（実施日）令和3年10月28日（木）
（開催場所）ANAクラウンプラザホテル広島（広島市）
- ・四国ツーリズム創造機構「四国観光商談会」
（開催日）令和3年12月16日（木）
（開催場所）梅田スカイホール（大阪市）
- ・近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム合同商談会
（開催日）令和3年12月20日（月）
（開催場所）ホテルサンシャイン徳島（徳島市）

イ 旅行会社向け観光素材集の作成

県外での商談会や観光セミナー、旅行会社への営業活動のために必要な観光素材集を作成した。

ウ 旅行会社向けの支援

旅行会社向けの助成金を交付し、旅行会社への支援を行った。

- ・とくしま旅行会社視察助成事業

旅行会社の旅行商品造成のための視察に対して経費の一部を助成した。

（視察数）2件

- ・個人旅行推進事業

観光誘客を促進するため旅行会社が発行する募集型企画旅行(個人型)に係るパンフレット作成に対して経費の一部を助成した。

（パンフレット数）5件

(9) 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等のサポートツールを作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンションの開催決定後のサポートを行った。

(10) 「もっと！とくしま応援割」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県民限定の助成制度により県内の観光需要を継続的に喚起するとともに、県民に本県の魅力を再発見してもらい、徳島県の観光産業を支援した。

① 「もっと！とくしま応援割」

（実施期間）令和3年3月1日（月）～令和3年5月31日（月）

（実施内容）県内在住者が県内の登録宿泊施設で宿泊をする場合、上限額（1人1泊最大5千円）の範囲内で宿泊料の助成を行った。

② とくしま周遊クーポン

（実施期間）令和3年3月1日（月）～令和3年5月31日（月）

（実施内容）「応援割」を利用して宿泊をする場合、上限額（5千円）の範囲内で、県内の観光や交通に利用できるクーポン券を提供した。

※①、②共通

（参加施設等数）宿泊施設：208施設、旅行会社：23社

利用対象施設：1, 137施設

（10-1）「みんなで！とくしま応援割（1期）」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県内の観光需要を継続的に喚起するとともに、県民に本県の魅力を再発見してもらい、徳島県の観光産業を支援した。

① 「みんなで！とくしま応援割」

（実施期間）令和3年6月12日（土）～令和3年7月31日（土）

（実施内容）県内在住者が県内の登録宿泊施設で宿泊をする場合、上限額（1人1泊最大5千円）の範囲内で宿泊料の助成を行った。

② とくしま周遊クーポン

（実施期間）令和3年6月12日（土）～令和3年7月31日（土）

（実施内容）「応援割」を利用して宿泊をする場合、上限額（2千円）の範囲内で、県内の観光や交通に利用できるクーポン券を提供した。

※①、②共通

（参加施設等数）宿泊施設：202施設、旅行会社：43社

利用対象施設：1, 202施設

（10-2）「みんなで！とくしま応援割（2期）」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県内の観光需要を継続的に喚起するとともに、県民に本県の魅力を再発見してもらい、徳島県の観光産業を支援した。

① 「みんなで！とくしま応援割」

（実施期間）令和3年8月1日（日）～令和4年6月30日（木）

（実施内容）県内在住者が県内の登録宿泊施設で宿泊をする場合、上限額（1人1泊最大5千円）の範囲内で宿泊料の助成を行った。

※令和3年12月以降、順次「隣接県」を追加

② とくしま周遊クーポン

(実施期間) 令和3年8月1日(日)～令和4年6月30日(木)

(実施内容)「応援割」を利用して宿泊をする場合、上限額(2千円)の範囲内で、県内の観光や交通に利用できるクーポン券を提供した。

※①、②共通(令和3年度末現在)

(参加施設等数) 宿泊施設：212施設、旅行会社：44社

利用対象施設：1,327施設

(11) 夢と感動を！徳島ヴォルティスJ1事業

「徳島ヴォルティス」のJ1復帰にあわせ、宿泊促進キャンペーンや観光ツアーの造成支援等を行うことにより、県外からの観光客・宿泊者数の増加を図った。

① 対戦チームサポーター用WEBページ制作・管理業務

(実施期間) 令和3年4月1日(木)～令和3年12月5日(日)

(実施内容)「阿波ナビ」内に対戦チームサポーター用の「徳島ヴォルティス観戦ガイドサイト」を開設し、徳島県の観光情報やキャンペーンの広報を行った。

② 宿泊促進キャンペーン実施業務

(実施期間) 令和3年3月29日(月)～令和4年3月20日(日)

(実施内容)「#徳島あるでないで」サイト内楽天トラベル及びびじらんサイトに「徳島ヴォルティスJ1復帰記念キャンペーンサイト」を開設し、特典付き「宿泊プラン」の紹介を行うとともに、「宿泊割引クーポン」を発行するキャンペーンを実施した。

(実施結果) クーポン利用数 1,951枚

③ 徳島ヴォルティス観戦ツアー造成支援事業

(実施期間) 令和3年4月1日(木)～令和3年12月4日(土)

(実施内容) 徳島ヴォルティス観戦ツアーを造成した旅行会社への助成を実施した。

(実施結果) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ホームゲームのツアー助成はなかった。

アウェイゲームは3ツアーが実施され、110名が参加した。

④ アウェイサポーター向けJ1復帰クーポン発行業務

(実施期間) 令和3年4月7日(水)～令和3年12月4日(土)

(実施内容)「ポカリスエットスタジアム」内に「とくしま周遊クーポン配布ブース」を設置し、徳島県内に宿泊するアウェイサポーターを対象に、スタジアム内の飲食・物販及び県内観光施設、飲食店等で利用可能な周遊クーポンを配布した。

(実施結果) 周遊クーポン発行数 461冊(1冊：4枚綴り)

⑤ おもてなしタクシー周遊キャンペーン業務

(実施期間) 令和3年4月6日(火)～令和3年12月5日(日)

(実施内容) 徳島ヴォルティスホームゲーム観戦者が、おもてなしタクシーを利用する際の割引を実施した。

(実施結果) 利用件数 2件・2,000円

(12) 徳島一福岡線利用による旅行商品造成促進事業

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(13) SNSを活用した観光情報発信事業

(実施期間) 令和3年4月～令和4年3月

(実施内容) 写真家 大杉隼平氏と連携し、本県の自然や文化、観光資源をSNSで全国に発信した。

(14) 四国DCを契機とした情報発信事業

(実施期間) 令和3年10月～12月

(実施内容) 令和3年10月から実施された四国デスティネーションキャンペーン(四国DC)にあわせて、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」内に、本県の観光素材を発信する特設ページを開設するとともにSNSにより情報発信を行った。

(15) 徳島の新たな魅力発信事業

(実施期間) 令和3年10月～令和4年3月

(実施内容) 写真家 大杉隼平氏と連携し、本県の自然や文化、観光資源を発信するため特設サイトを開設するとともに、サイトを紹介する広報カードを作成し情報発信を行った。

(16) 「オール徳島」観光商談会実施事業

首都圏旅行エージェントの旅行商品造成部門担当者(国内、訪日等)や旅客・運輸会社を対象に、本県の魅力発信や県産食材・物産品のPR及び販路拡大につなげるため、観光商談会を実施した。

(開催日) 令和3年11月16日(火)

(開催場所) ホテル雅叙園(東京都)

(17) 徳島県「観光インフルエンサー」養成事業

アフターコロナに向けた「選ばれる観光地」を目指すため、「観光インフルエンサー養成ツアー」を実施し、徳島の食や体験を体感するだけでなく、伝承した理由や意味、制作過程等、背景を含め理解し、ツアーを通じて再発見した徳島の魅力をSNS等で積極的かつ効果的に発信するインフルエンサーを養成し、新たな観光需要の創出を図った。

(ツアー内容)

・実施日: 令和3年11月30日(火)

・テーマ: 阿波藍の魅力満喫の旅

- ・概要：日本の藍文化を支えた阿波藍「染（すくも）」、「天然灰汁発酵建て」の技法で染色する藍染、大谷焼の藍がめを作陶する「寝ろくろ」を見学するとともに、各種体験により価値を学んだ。
- ・実施日：令和4年1月29日（土）
- ・テーマ：木工・和傘の伝統技術・食文化を楽しむ旅
- ・概要：日本で唯一、和傘制作の全行程を手掛ける美馬和傘の技術を取り入れたランプシェード作りや、藍染の遊山箱作りを体験するとともに、美馬和傘や遊山箱の製造行程等を学び、価値を再認識した。
- ・実施日：令和4年2月11日（金・祝）
- ・テーマ：伝統をつなぐ食と浄瑠璃文化を学ぶ旅
- ・概要：庶民の娯楽として親しまれた「阿波人形浄瑠璃」の歴史や文化を学び、日本で数少ない人形師の制作、伝統の味を守る「酒蔵・味噌蔵」を見学することで、伝統を維持継承する価値を学んだ。

（参加者数）各回10名 合計30名

※各講座の内容について、各自のSNSで発信

3. 収益事業

（1）自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダーへの広告掲載等により収益拡大に努めた。

また、賛助会員の拡充による組織基盤の強化に努めた。

① 徳島県観光ガイドマップ作成事業

2022年度版の徳島県観光ガイドマップを10万部作成した。

② とくしま観光カレンダー作成事業

写真家 大杉隼平氏が「徳島の新たな魅力発信事業」などで撮影された写真を活用した「2022旬の徳島カレンダー」を作成し、協賛企業等に販売を行った。

（制作部数）13,700部（協賛企業19社:12,700部、当協会:1,000部）

③ 阿波おどりベンダー事業

ガイドードリンコ(株)及び四国放送(株)の協力により、オリジナル自動販売機「阿波おどりベンダー」に装備された阿波弁の音声、阿波ナビのQRコードリンクにより、本県の観光情報を発信した。

また、阿波おどりベンダーの売り上げの一部は、本県の観光振興に役立てるために当協会に贈られており、令和4年3月30日にアスティとくしまで贈呈式が行われた。

④ 三好長慶ベンダー事業

売り上げの一部が当協会に贈られるなどの阿波おどりベンダーの枠組みを活かし、ダイードリンコ(株)との協働により令和2年度に制作した、戦国時代、織田信長に先駆けて天下人となった三好長慶の迫力ある画像でラッピングされ購入時等に戦国武将のような音声流れるオリジナル自動販売機の設置拡大を図った。

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア 第31回国際MICEエキスポ（オンライン開催）への参加

新型コロナウイルス感染症の影響により、商談会を始めとして、すべてオンラインで実施された。主催者に対しては、コンベンション施設・宿泊施設情報や、助成制度等各種支援内容、ハイブリッド開催でのWEB環境、新型コロナウイルス感染症対策などウィズコロナ・アフターコロナに向けた本県へのコンベンション誘致に努めた。

（開催日程）令和4年2月16日（水）～2月17日（木）

（セラー）81団体62ブース

（主催者等）150名

イ 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

② 企画提案・視察支援事業

コンベンション主催者に対して、本県での開催におけるコンベンション施設利用プランや関連事業者を紹介した。

また、「センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム」及び「日本セラミック協会」の令和4年度開催実行委員が開催候補地として徳島県を視察した際に、会場や宿泊施設の空き状況等の各種調整を行った結果、令和4年度の本県開催が決定した。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供するとともに、県内の各種関係団体と連携した誘致活動を推進した。また、協議会の開催に合わせ会員に対しMICE・観光振興講演会を実施し、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるコンベンション振興に努めた。

(開催日時) 令和4年3月24日(木) 14:00~16:00
(開催場所) アスティとくしま 1F 第4会議室
(開催内容) 第1部 とくしまコンベンション誘致推進協議会
第2部 「パーフェクトMICE都市とくしまにむけて」
松尾 徳朗 氏
(東京都立産業技術大学院大学教授、
日本政府観光局MICEアンバサダー)
(参加者数) 35名 (WEB22名・会場13名)

- ④ コンベンションセミナーの開催
コロナ禍により、対外的な研修活動が縮小したため、事業を中止した。
- ⑤ 広域連携による誘致促進事業
各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携し、積極的な情報収集に努めた。

(2) 受入支援事業

- ① コンベンション開催支援助成金の交付事業
コンベンション主催者に対し開催費を助成した。
(交付件数) 9件
(交付金額) 6,089,170円
- ② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業
開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や各種観光パンフレット等を提供した。また、WEB併催又はWEB開催となった、主催者ホームページで紹介を行うなど、魅力的な体験観光の紹介をした。
(優待券の配布) 5件 1,620部
- ③ MICEおもてなし事業
新型コロナの影響により歓迎看板の設置、歓迎ポスターの掲示はなかった。WEB開催となったコンベンションに対しては、WEB上で公開する動画や写真の提供を行った。
- ④ MICEワンストップ事業
コングレスバッグの手配、サーモグラフィの設置、記念品・特別講演の企画提案、弁当事業者の紹介等を行った。
- ⑤ 関係団体との連携
国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO(日本政府観光局)、JCCB(日本コンベンション・カンファレンス・ユビキタス)等のノウハウや情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画などの情報収集や意向調査を行った。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① 「アドベンチャーツーリズム徳島」発信事業

世界のツーリズム市場を牽引する分野として期待されている「アドベンチャーツーリズム」について、2025年の大阪・関西万博に訪れる国内外の観光客を誘致する一つの柱として取り組むため、国内の先進的な活動団体である、一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会を訪問するとともに、各種オンラインセミナーに参加し、情報収集に努めた。

② ワールドマスターズゲームズ2021関西 ゴルフ競技誘客促進事業

コロナ禍で延期となったワールドマスターズゲームズ関西に備え、徳島県において開催予定の各種競技種目のうち、ゴルフ競技について関係団体と連携し、海外のゴルフ専門の旅行会社に向けた、ビデオファムツアーの開催やPR動画の作成を行った。

ア 海外向け 徳島・兵庫 ビデオファムツアーの実施

(実施期間) 令和4年2月15日(火)～3月6日(日)

(対象) 海外のゴルフ専門旅行会社

(主催) ひょうご観光本部・徳島県

イ ゴルフツーリズムPR動画の撮影

徳島県ゴルフ協会、イーストとくしま、観光施設等と連携しゴルフツーリズム推進に向けた動画の撮影を行った。

③ 各種インバウンド商談会への参加

ア 四国オンラインセミナー商談会2022

・上海市場

(開催日程) 令和4年1月26日(水)

(実施方法) オンライン

(商談数) 5社

・香港市場

(開催日程) 令和4年2月8日(火)、9日(水)

(実施方法) オンライン

(商談数) 3社

イ ツーリズムEXPOジャパン2021大阪・関西

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

④ 中国・香港からの誘致

ア 中国海外旅行Online展示会

(開催日程) 令和3年5月20日(木)、21日(金)

(実施方法) オンライン

(商談数) 18社

- イ 微博（weibo）でのライブ動画を配信
（実施日時）令和3年4月2日（金）12：30～（中国現地時間）
（実施内容）徳島の「桜」をテーマに勝浦さくらまつり（船下り、あめご釣りとビック雛祭りを紹介
（視聴者数）4,300人（予告：2,300人）
- ウ 香港ブックフェアJNTOブースでのオンラインPR
（実施日時）令和3年7月17日（土）15：00～15：30
（実施場所）三好市西祖谷の祖谷かずら橋周辺
（実施内容）JNTOブース内画面で、渡橋しながら徳島の魅力を紹介
（主催）徳島県西部総合県民局、三好市
（共催）徳島県観光協会
- エ 香港公開大学「オンライン授業」ライブ配信
香港公開大学で実施の日本の各自治体と連携したオンライン授業「細説日本都道府県之最」にて、関係団体と連携し本県の紹介と祖谷のかずら橋からのライブ配信を行った。
（実施日時）令和3年10月27日（水）
14：30～約1時間（日本時間）
（実施内容）①5分～10分 当協会から県内観光の説明
②20～30分 祖谷かずら橋 中継（西部総合県民局）など
（協力）在香港日本国総領事館、
徳島県（観光政策課・西部総合県民局）、徳島県観光協会
- オ 秋の阿波おどりライブ配信（香港）（通訳）
香港で毎年実施されている「日本秋祭りin香港」での、「秋の阿波おどりライブ配信」の支援を行いアフターコロナに向けたPRを行った。
（開催日時）令和3年11月7日（日）14：00～15：00
（主催）日本秋祭りin香港実行委員会
（在香港日本国総領事館、香港日本人商工会議所ほか）

⑤ 台湾からの誘致

- ア 台湾における秋の阿波おどりを活用した徳島観光イベント実施
コロナ禍での本県の観光情報の継続した情報発信を行うため、アスティとくしまで開催する「秋の阿波おどり」を活用し、台湾において、「阿波おどり」の魅力や本県観光の情報発信を行った。
（開催日）令和3年11月7日（日）
（開催場所）台湾台北市内のMAJI集食行楽円形広場
（実施内容）・「秋の阿波おどり」の「阿波おどり大絵巻」をイベント会場においてライブ配信するとともに、現地の台湾阿波おどり推進協会と連携し、阿波おどり教室を実施した。
・来場者にノベルティを配布し、本県の台湾向けFacebookのフォローを促した。

- ・徳島観光クイズにより、来場者に徳島県の魅力を発信するとともに、観光パンフレット600部を配布した。
(来場者数) 約800人 (阿波おどり教室約400人)

イ 産官学民連携の教育旅行受入支援体制づくり

四国ブロック広域観光振興事業として四国運輸局、四国各県、四国各県観光(物産・コンベンション)協会、日本観光振興協会四国支部と連携して実施している訪日台湾教育旅行誘致事業を一層発展させるため、四国内の産官学民で構成する「訪日台湾教育旅行四国交流支援特使制度」を設け、徳島県からは5人の特使を推薦した。

- ・徳島大学 総合科学部教授 荒武 達朗
- ・徳島文理大学 薬学部教授 瀬津 弘順
- ・大歩危峡まんなか代表取締役会長 大平 克之
- ・株式会社サンエックス情報システム 代表取締役 外山 邦夫
- ・徳島台湾研究会 会長 豊井 泰雄

ウ オンライン学校交流の支援

コロナ禍により、訪日台湾教育旅行が中断しているため、姉妹校提携している学校とのオンライン交流の実施を支援した。

(開催日時) 令和3年12月15日(水) 15:00~17:00

(交流校及び参加者)

徳島県立つるぎ高等学校 生徒10名、校長・教員7名
台湾国立二林高級工商職業学校 生徒5名、校長・教員4名

(開催日時) 令和3年12月17日(金) 11:00~12:00

(交流校及び参加者)

徳島市立高等学校 生徒22名、校長・教員3名
台湾国立潮州高級中學 生徒30名、校長・教員5名

⑥ その他の国からの誘致

四国運輸局や四国ツーリズム創造機構等と連携し、FIT層向けを中心としたタイ旅行会社に対し、宿泊施設や観光資源等を情報提供し、訪日旅行商品の造成促進を図った。

ア タイ旅行会社を対象としたオンライン商談会

(開催日程) 令和4年2月2日(水)

(主催) 四国運輸局、高松空港株式会社、
一般社団法人四国ツーリズム創造機構、
四国旅客鉄道株式会社

(商談数) 5社

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

令和3年度は、当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった第4期目（令和3年度から令和7年度まで）の初年度であったが、前年度からの新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛要請や緊急事態宣言の発出などの影響で、臨時休館や営業時間の短縮等が行われた。

しかし、多目的ホールや特別会議室が、県主導による「新型コロナワクチン大規模集団接種会場」となり、稼働日数や稼働率、使用料収入等が大幅に前年度を上回った。

誘致活動や自主事業及び利用促進事業等においては、新型コロナウイルスへの感染者増に伴い中止せざるを得ない事業もあったが、今後の多目的ホール等の利用を促すことから、様々な感染症対策を行いながら事業を実施した。

① 利用状況

内 訳	令和2年度	令和3年度	前年比
多目的ホール・会議室			
開館日数	266日	344日	129.3%
稼働日数	90日	209日	232.2%
稼働率	33.8%	60.8%	179.9%
使用料金額(ホール・会議)	32,314,773円	107,476,820円	332.6%
駐車場			
利用台数	94,181台	156,787台	166.5%
利用金額	18,836,200円	31,357,400円	166.5%

（令和3年度から第5会議室・第6会議室は、ときわプラザに移管された。）

※新型コロナによる臨時休館 7日間（4月29日から5月5日まで）

※新型コロナによる時短営業 24日間（5月8日から5月31日まで）

※新型コロナによる時短営業 38日間（8月24日から9月30日まで）

※県による「新型コロナワクチン大規模集団接種」を多目的ホール及び第1特別会議室で行うこととなり、既に予約のあった主催者に対し、県が会場の調整（県への譲渡等）を行ったところ、催事の延期やキャンセルなどがあった。

※ワクチン大規模集団接種（1回目、2回目） 6月5日から11月2日まで

※ワクチン大規模集団接種（3回目） 2月1日から7月15日までの予定

② 誘致活動状況

全国展示場連絡会議等に参加し、県外コンベンション施設との交流を図り、誘致につなげることにしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての連絡会議が中止となった。

しかし、全国展示場連絡協議会第7・8ブロックでは、接触の機会を減らすこととし、各施設の懸案事項（協議事項）等の取りまとめが行われた。

(2) 感染症対策

前年度に行った、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、今年度は、事務室受け付けへの除菌空気清浄機の設置のほか、抗ウイルス・抗菌性ワックスを購入し、館内の入口扉（取っ手）、多目的ホールや各会議室の机、照明や空調スイッチ、コピー機やFAXのタッチパネル等の処理を行った。

また、県から出された「とくしまアラート」等のアスティ館内への掲示や、来館者へのマスク着用、手洗いや手指消毒、3密回避等の注意喚起などにも努めた。

(3) 館内設備の維持更新等

施設設備の維持については、経年劣化状況や優先度を把握し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら効率的、効果的に実施した。

更に、利用者サービスとして「貸出用プロジェクターの追加購入」、「館内LAN回線の更新」、駐車場や周辺道路の混雑状況を配信する「ライブカメラの設置」、経年劣化した「特別室の壁紙及びカーテンの交換」、「応接室の壁紙及び絨毯の交換」等に努めた。

(4) 自主事業及び利用促進を目的とした事業展開

① 大会・会議等の誘致事業

全国展示場連絡会議等への参加や、観光・コンベンション振興課と連携した誘致活動を行うこととしていたが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により誘致活動ができなかった。

しかし、令和4年2月16日と17日にオンラインで開催された「第31回国際MICEエキスポ」において、アスティとくしまのPRを行った。

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

県内企業の商談会や商品説明会のほか、学校や各種団体の会合等において、施設の利用促進を図るため積極的な営業活動を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き誘致活動ができなかった。

しかし、令和5年度に周年年を迎える企業等に対し、アスティとくしまにおける新型コロナウイルス感染症対策の状況を伝えるとともに、多目的ホールの利用案内文を送付した。

③ アスティおどりひろば（県指定事業）

8月12日から15日まで、阿波おどり期間中の昼間対策として、県内有名連による阿波おどりの上演やレッスンをを行い、観光客の誘致を図ることとしていたが、徳島県が新型コロナウイルス感染症のワクチン大規模集団接種会場として多目的ホールを利用したため、昨年度に続き、「アスティおどりひろば」は、中止となった。

④ 秋の阿波おどり

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、今年度は十分な感染症対策等を行い、県と共同で開催した。

有名連による阿波おどりや学生（高校・大学）による阿波おどり、阿波木偶三番叟まわし、北島兄弟を招いたコンサートなどを開催した。

なお、感染症対策として、一部当日券を用意したものの、基本的には事前申し込みによる指定席とし、体験コーナーや飲食ブースは設けず、ステージでのイベントも午後からのスタートとした。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で開催の決定が遅れ、県外旅行AGTへの営業活動ができず、イベント開催の広報期間が短かったこともあり参加者数は少なくなった。

（開催日）令和3年11月6日（土）～7日（日）

（入場者）延べ1,360名



⑤ ドローンプログラミング教室

第3回目となる「ドローンプログラミング教室」は、小学4年生から中学3年生までを対象として募集し、令和4年1月23日に多目的ホールで開催予定であったが、1月18日に新型コロナウイルスの第6波による全国感染者数が過去最多となり、県内でも多くの感染者が出たことから、3月に延期した。

しかし、県内の感染者数が減少しないこと、2月10日には「とくしまアラート」が「感染警戒（レベル2）後期」に引き上げられたことなどから中止となった。



⑥ 明日亭徳島落語会

「第19回明日亭徳島新春寄席」を、「桂七福氏」の落語と、津軽三味線教室会「つがるん」の演目を幕間に入れ、第1特別会議室で開催した。

1月8日に「とくしまアラート感染観察（レベル1）」が発動されたこともあり、参加者数は少なくなった。

（開催日）令和4年1月10日（月・祝）

（入場者）70名



⑦ アスティ阿波奏舞祭

昨年度のアスティ阿波演舞祭が好評であったことから、今年度は「演奏」と「演舞」を取り入れ、名称をアスティ阿波奏舞祭と変更し開催した。

県内4大学の阿波おどりのほか、和太鼓の演奏や吹奏楽などによる演技が行われたが、感染症対策として「秋の阿波おどり」同様、一部当日券を用意したものの、基本的には事前申し込みによる指定席とした。



また、発表の場を失っている、県内各大学の阿波おどり等のサークルに、活動発表の場を提供することで、阿波おどりの裾野の拡大などを図った。

(開催日) 令和3年11月21日(日)

(入場者) 350名

⑧ アスティ杯eスポーツフェスタ

年齢、性別、ハンディキャップの有無にかかわらず多くの人を楽しめるeスポーツの普及・発展を図るため、「アスティ杯eスポーツフェスタ」を、年3回開催予定としていた。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、準備時(4月・9月・2月)や募集時(5月)に感染者が増加し、そのたび延期したものの、最終的には1回の開催となった。

(開催日) 令和3年11月20日(土)

(参加者) 県内4大学から5サークル



⑨ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

阿波おどりの練習場所として、多目的ホールの空き日を有名連に提供するとともに、練習風景の観覧情報を市内宿泊施設等に発信し、観光振興とにぎわいの創出に努めることとしていた。

しかし、新型コロナウイルスへの感染者数の増加や徳島県がワクチン大規模集団接種会場として多目的ホールを利用したことなどから、阿波おどりの有名連の練習は3月の4日間だけとなり、新型コロナ感染対策のため練習風景の観覧は行わなかった。

⑩ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場を県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も、引き続き写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。

開催期間	展示内容
3/27～ 4/22	阿波市フォトコンテスト入賞写真展
4/26～ 7/24	日和佐八幡神社秋祭り ちょうさ写真展
7/27～ 9/26	「渦潮・大鳴門橋」紹介写真パネル展
10/ 1～10/31	千年のかくれんぼフォトコンテスト
11/ 9～ 1/23	大歩危祖谷温泉郷 絶景ロマン癒やしの湯パネル展
1/29～ 3/24	鳴門百景フォトコンテスト2021受賞写真展
3/26～ 4/20	阿波市フォトコンテスト受賞写真展

⑪ アスティとくしまPR動画制作事業

多目的ホールへの誘致活動やホームページでの広報活動等を行うため、ドローンによる空撮を取り入れ、普段、見ることのない高度やアングルからの撮影を行い、美しく迫力のあるアスティとくしまのPR動画を制作した。



⑫ 有名アーティストによるコンサート開催に係る宿泊アンケート

全国大会等においては、参加者が宿泊や観光を伴うことから、地域経済の振興に寄与すると言われており、支援助成金を交付する大会等に関しては、宿泊者数を把握することができる。

一方、有名アーティストによるコンサートも宿泊や飲食を伴うなど、地域への経済波及効果が大きいものと考え、11月に多目的ホールで開催されたコンサート時に、どの程度の宿泊があったのかの調査を実施したところ、下記のとおり回答があった。

(回答宿泊施設数)	10施設(12施設に依頼)
(見込まれる宿泊者数) 約	1,000名以上(9宿泊施設からの回答合計)
(最多宿泊者数) 約	200名以上(2宿泊施設からの回答)
(コンサート時の宿泊者数)	増加(全ての施設から)
(コンサート誘致の必要性)	必要(全ての施設から)

⑬ SDGs推進施策

今年度も、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、照明器具等を適宜照度効果の高いLED照明器具に交換するなど、省エネ、環境対策を図った。

また、これまで雨天時には傘用のビニール袋を使用していたが、環境を考慮し、傘を数回振るだけで雨滴を吸水する「傘のしずくとり機」を購入することで、ビニールごみの排出量削減を図った。

⑭ その他

更なる利用者サービスの向上を図るため、アスティとくしまホームページ等を適宜、情報更新・改善することで、より利便性の高い施設づくりに努めた。

また、当施設が徳島市の津波避難ビル・緊急避難場所に指定されていることも踏まえ、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努めた。

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター(ときわプラザ)の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

令和3年度はアスティとくしま同様、当協会が継続して「ときわプラザ」の管理運営を担うこととなった第4期目の初年度であったが、前年度からの新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛要請や緊急事態宣言の発出などの影響で、臨時休館や営業時間の短縮等が行われた。

ときわプラザは、本年度から就労相談なども行う総合支援センターに機能強化され、新たに会議室が2室設置された。

これらを踏まえ、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや会議室等の利用率向上に努めたところ、ときわホールの稼働日数や稼働率、使用料収入は前年度を上回った。

① 利用状況

内 訳	令和2年度	令和3年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	220日	347日	157.7%
稼働日数	51日	98日	192.2%
稼働率	23.2%	28.2%	121.6%
使用料金額(ホール・会議室)	1,485,630円	6,921,530円	465.9%
第5会議室			
開館日数	—	347日	皆増
稼働日数	—	88日	皆増
稼働率	—	25.4%	皆増
第6会議室			
開館日数	—	352日	皆増
稼働日数	—	118日	皆増
稼働率	—	33.5%	皆増
展示ギャラリー			
開館日数	200日	346日	173.0%
稼働日数	86日	177日	205.8%
稼働率	43.0%	51.2%	119.1%

(令和3年度から新たに第5会議室・第6会議室が設置された。)

※新型コロナによる臨時休館 7日間(4月29日から5月5日まで)

※新型コロナによる時短営業 24日間(5月8日から5月31日まで)

※新型コロナによる時短営業 38日間(8月24日から9月30日まで)

② 誘致活動状況

アスティとくしまと同様に、大会・学会等誘致と併せた活動を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの事業が実施できなかった。

しかし、令和5年度に周年年を迎える企業等に対し、アスティとくしま等における新型コロナウイルス感染症対策の状況を伝えるとともに、アスティとくしまと併せ、ときわプラザの利用案内文を送付した。

③ 事業実施状況

項 目	実施概要
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

渦の道等の管理運営については、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、感染症対策を踏まえた非接触型自主事業の開催や国内の旅行会社等に対しオンラインでの営業活動を行った。コロナ禍の中で安心・安全を第一に考慮し、入館者の顧客満足度の向上に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため「とくしまアラート」が発令されたことから、団体予約や教育旅行などの延期やキャンセルが相次ぐとともに、徳島県の指示により4月29日から5月5日までは臨時休館とした。

前年度に引き続き、感染症対策等を実施したものの、個人客、団体客とも微増に止まった。一方で、SDGsの観点から実施可能なイベントを開催することで誘客促進や顧客満足度向上に努めた。

(2) 利用状況

内 訳	令和2年度	令和3年度	前年比
渦の道			
入館者数	226,935人	257,147人	113.3%
入館料	87,255,740円	98,410,110円	112.8%
エディ			
入館者数	33,797人	37,492人	110.9%
入館料	12,630,910円	13,314,190円	105.4%

(3) 徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館エディの共通利用促進等

① 鳴門公園地域渋滞対策事業

観光客が集中するGW期間中は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館であった。

お盆期間（8/12～15）は、徳島県と協議の上、シャトルバスの運行はしなかった。鳴門公園地域の渋滞緩和策として、掲示物を制作・準備したが設置はせず、周辺道路に警備員を配置した。



② 鳴門公園全体のにぎわいづくり

一年間を通じて徳島県グリーン社会推進課が中心となり、鳴門公園プランニング事業検討会が開催され、既存の観光資源を生かした誘客プランの提案や協議を行った。徳島県・鳴門市行政、また店舗・施設が意見を出し合うことで多角的に協力体制を築ける仕組み作りができた。

③ エントランスロビーフォトスポット作製

新型コロナウイルス感染拡大防止策として非接触のおもてなしがふさわしいことから、歓迎の思いをフォトスポットで表現した。

渦の道やエディのエントランスロビーに季節の装飾を施し、おもてなしと同時にフォトスポットとして楽しんでいただいた。また、SNSでの情報発信スポットになるよう「#キャンペーン」も実施した。



④ 旅行業者等へのリモートでの営業活動

四国ツーリズム創造機構が主催する商談会や、徳島県が実施する旅行会社との商談会にリモートで参加をした。リモート営業も二年目とあって、大会場での営業手法とは違い、相手が「より知りたい情報」を提供できる空間とした。

旅行会社にとってはアフターコロナの観光市場として、「わざわざ行きたい」、「そこにしかない」等のキーワードに合ったコンテンツ探しの最中であり、商談会に止まらず、最新情報を提供し関係性を継続する。

⑤ SNSでのタイムリーな情報発信及びWEBチケット販売強化

利用客に向けてSNSを活用し知りたい情報を事前にキャッチできるよう、来館当日は安心して楽しめるようにニーズに対応した。

一例として、バリアフリールートも含めた駐車場から渦の道までのルートマップを作成しアップした。また、WEBチケット販売は以前から行っているが、早期顧客の獲得ツールとして重点的に販売を行った。

入場時においてもチケット購入がショートカットできる分スマートな動線確保となる。今後も社会情勢に合った運用をブラッシュアップしながら継続する。

⑥ 阿波おどり会館、アスティとくしまでの施設PR展示



誘致活動の一環として施設外での企画展示を行った。

徳島市内の人気観光スポットである阿波おどり会館の1階正面玄関スペースにて、渦潮や大鳴門橋の写真展示や鳴門公園のパフレットを設置した。併せて「鳴門海峡を世界遺産へ」といったのぼりも設置し、世界遺産登録に向けた取組みもPRした。(実施期間：5月6日～6月13日)

また、アスティとくしま1階ふれあい広場でも同様の展示を行った。(実施期間：7月27日～9月30日)

⑦ モニタリング活動

長時間の接客は避けるべきであり、筆記式アンケートも社会情勢上好ましくないため、個人客向けにモバイルアンケートを実施した。(8月16日から通年) また、教育旅行の利用が多く、サンプルを得られる機会であるため団体客向けには旅行会社や引率の教員へ旅行終了時にFAXにて返信回答できるアンケートを実施した。(5月14日から通年)

今後は回答内容の分析を行い、施設の魅力アップにつなげていく。

⑧ コロナ禍での研修

ニューノーマルな接客対応が必要となるため、マスク着用時の接客ポイントや発声時の注意点等についてマナーアップ研修を行った。

また、危機管理研修では南海トラフ地震等の災害時に向けて、避難持出袋の中身の確認やコロナ禍での避難時の注意点について学習した。

(研修実施日：6月14日、9月13日、12月13日、3月14日)

(4) 徳島県立渦の道の利用促進

① ロケーション誘致活動

今年度は前年度に引き続き、旅番組等の撮影も少ない中、ネームバリューのある声優やアイドルの各種ロケーションが誘致できた。9月12日には、声優の佐藤拓哉さんが写真集の撮影に、1月20日には、ジャニーズ事務所所属の「Aぇ！group」がYouTube番組の撮影を行った。その他にも各種メディアでの報道もあり、認知度を高める機会となった。

② ボランティアガイド「鳴門公園コンシェルジュ」案内活動

感染者数が落ち着いている時期を選び、鳴門公園コンシェルジュによる観光ガイド活動を実施した。「新しい旅のエチケット」も浸透しており、新たな旅行のガイドラインを利用客にも理解いただきながら、適切な距離と会話時間を守った。

今後も最新のガイドラインに沿って、観光ガイド活動を継続して実施する。

③ 鳴門公園全体でのサステナブルツーリズムへの参画



12月1日より中四国初となる水素（燃料電池）バスが1日当たり11便の運行を開始した。

3月12日には「鳴門公園水素バス[®]探検ツアー」を開催するというので、渦の道を経由した大鳴門橋管理路ウォーク企画造成に協力をしたが、社会情勢により中止になった。

脱炭素社会の実現に向けた新たな取り組みにより、環境に優しい鳴門公園のイメージアップを図った。

④ トrendに合ったイベントの案内

今年度は集客型イベントの実施が館内ではできなかつたため、周辺でのイベントを利用客に案内することで、顧客満足度を高めることができた。

9月20日には鳴門市出身のピアニスト石井琢磨さんによるストリートピアノが盛大に開催され多くのファンを魅了した。



(5) 徳島県立大鳴門橋架橋記念館エディの利用促進

① JAFデーin大鳴門橋架橋記念館の開催（連携事業）

5月23日に3階多目的スペースにおいて「JAFデーin大鳴門橋架橋記念館」を開催した。

当日は、JAFグッズや大鳴門橋架橋記念館のグッズが抽選で当たるガチャガチャや子ども免許証の発行で賑わった。交通マナーを学べる要素もあり、楽しみながら学習ができた。感染者数減少時期であったため、開催できた貴重な参加型イベントであった。（参加者：21組63名）

② エディスペースの有効活用



1階エディスペースにおいて徳島県の産業や自然を紹介する取組みとして「鳴門のうずしお木育教材」（協力：エヌ・アンド・イー（株））を10月1日から通年で展示した。常設展示にはない新たな徳島県の情報発信と位置付けられる展示内容となった。

また、徳島の伝統文化の伝承イベントとして7月24日の「とくしま藍の日」に『藍の生葉染め体験』（協力：STUDIO N2）を開催した。

参加体験型イベントとして満足度が高かった。（参加者：30名）

③ 地元特産品のPR活動の実施

エディ入館者に8月23日、24日の夏休み2日間限定で徳島県の特産品のすだちをプレゼントした。（各日50名に配布）

すだちは神山町にある「NPO法人里山みらい」が樹木の摘果作業時に収穫したもので、果実は小ぶりではあるが、すだちのPRができた。夏休み期間とあって県外客に喜ばれた。



④ 高校生との共催展示「とくまちてん」の実施



徳島県立城ノ内高等学校2年生の学生が学生視点で徳島県で活躍される方を自ら取材・撮影し、作成した掲示物の展示を行った。

取材力の高さや学生としての立場での考え方は、新鮮な内容であり、12月28日から2月20日まで、年末年始の県外客の利用が多い時期に開催することで、徳島県のPRにつながった。